

第20回 全日本エアロビクスコンテスト キッド・ジュニア(小学生・中学生・高校生)選抜 開催概要
 第31回 全日本エアロビクスコンテスト 男子・女子・シニア 開催概要

ワールドチャレンジエアロ部門

部門	内容	決勝	全国出場枠
小学生低学年	リードインストラクターに合わせて行う * 決勝は規定動作あり	8分	3位まで
小学生高学年		8分	3位まで
中学生・高校生		8分	3位まで

部門	年齢	内容	決勝	全国出場枠
シニア3	65歳以上の男女	リードインストラクターに 合わせて行う * 決勝 は規定動作あり	4分	3位まで
シニア1・2	シニア1 ・ 45歳～54歳の男女 シニア2 ・ 55歳～64歳の男女		8分	3位まで
男子	17歳～44歳の男		8分	3位まで
女子	17歳～44歳の女		8分	3位まで

- ・ワールドチャレンジエアロ部門は決勝のみとなります。(予選は無くあります。)
- ・全国大会チャレンジコンテストを行います。ワールドチャレンジエアロ出場者は無料で参加可能です。
- ・フリールーティン部門は廃止となります。
- ・シングル部門は演技のみの参加となります。

審査基準 ワールドチャレンジエアロ
1. 技術的要素(エアロビクス動作) ・アライメント・レンジオブモーション(上肢、下肢の可動域)・コントロール能力 ・つま先、膝、指先への意識・リズム感・動きの理解能力・身体全体を使っでのダイナミックな動き
2. 身体的要素 ・柔軟性 ・筋力 ・調整力 ・持久力
3. プレゼンテーション(エネルギー、表情)
4. フィットネス好感度、外観体型、清潔感

シニア1、2、3及び男子、女子は各部門ごとにランキング制度が導入されます。
 ランキング上位者は自動的に全国大会の出場権が得られます。

演技部門 シングル・グループ(グループは3～6名で構成)

	小学生低学年	小学生高学年	中学生・高校生
演技時間(シングル・グループ)	1分10秒～1分20秒		
規定動作	なし		
演技フロア	7m×7m(シングル) 10m×10m(グループ)		
エレメントの数(シングル)	最大6個	最大8個	最大10個
エレメントの数(グループ)	最大6個	最大8個	最大9個
フロアエレメント(シングル・グループ)	最大4個	最大5個	
許可される難度エレメント	0.5まで		
エレメントプール	最低3つのグループから1個ずつ実施		
スプリット及びブッシュアップでの着地	最大1個	最大2個	最大3個
リフト(グループ)	0～1回		
減点事項	最低3つのグループからエレメントを1個ずつ実施が無い(1.0の減点) ・規定数を超えるジャンプ、リープからのスプリット及びブッシュアップでの着地(1.0の減点) ・規定数を超えるフロアエレメント(1.0の減点) ・タイムオーバー 規定時間枠内に演技がなされなかった場合(0.2の減点) ・ラインオーバー 全国大会のみエリア規定が加わります(1回につき0.2の減点)		
禁止動作	ウォークオーバー(前方・後方)、ヘッドスプリング、 前転とび(ハンドスプリング)、後転とび(バック転)、前方・後方・側方宙返り など危険性の高いと思われる動作は禁止動作とし、安全面を配慮		
本年度変更点など	・グループは①小学生低学年、②小学生高学年、③中学生・高校生と分かれます。 混合の場合、上の学年でのエントリーと見なします。(例)低学年と高学年混合の場合、高学年と見なす。 ・ワールドチャレンジの全国大会出場権は各地区大会の3位までとなります。 ・演技の全国大会出場権は各地区大会の2位までとなります。		

- ※ エレメントが指定数を超えた場合は最初のエレメントから指定数までのエレメントが採点されます。
- ※ エレメントプール以外のエレメント(0.6以上)実施の場合は評価されません。(禁止動作、減点事項にも評価されません)
- ※ エレメントが最低要求事項に満たしていない場合は0.0評価となります。但し実施の合計には数えられます。

エレメント ◆演技は最低3つのグループから1個ずつ実施。

- グループA・・・ブッシュアップ、エクスペローシブ、レッグサークル、カット、フレアー、ヘリコプター
- グループB・・・サポート、レバー
- グループC・・・ジャンプ、リープ、シザーズキック
- グループD・・・スプリット、バランス、ターン、イルージョン、ハイキック4回

	シングル一般				グループ(3～6名)
年齢	17歳以上				17歳以上(17才未満の者との混合あり)
演技時間	1分15秒～1分25秒				
ハンディキャップ	17歳～44歳(男子)	17歳～44歳(女子)	45歳～54歳(男女)	55歳以上(男女)	—
	ハンデなし	ハンデなし	プラス0.75点	プラス1.25点	
演技フロア	7m×7m				10m×10m
エレメントの数	最大6個				最大6個
許可される難度エレメント	0.5まで				
エレメントプール	最低3つのグループから1個ずつ実施				
スプリット及びブッシュアップでの着地	最大3個				最大3個
リフト(グループ)	—				0～1回
減点事項	最低3つのグループからエレメントを1個ずつ実施が無い(1.0の減点) ・規定数を超えるジャンプ、リープからのスプリット及びブッシュアップでの着地(1.0の減点) ・タイムオーバー 規定時間枠内に演技がなされなかった場合(0.2の減点) ・ラインオーバー 全国大会のみエリア規定が加わります(1回につき0.2の減点)				
禁止動作	ウォークオーバー(前方・後方)、ヘッドスプリング、 前転とび(ハンドスプリング)、後転とび(バック転)、前方・後方・側方宙返り など危険性の高いと思われる動作は禁止動作とし、安全面を配慮				
本年度変更点など	・シングル一般はハンディキャップ方式になります。(全国大会平均点数を基にハンディキャップ算出) ・ワールドチャレンジの全国大会出場権は各地区大会の3位までとなります。 ・演技の全国大会出場権は各地区大会の3位までとなります。				

審査基準 シングル・グループ	
エレメント	・エレメントの評価 エレメントの完成度と難度評価 最低要求事項を満たしているか
芸術 (アーティスティック)	・エアロビクス動作パターンの構成創造性 エレメント 移行/つなぎとリフト ・音楽の適合性 ・エアロビクス動作パターンのコンビネーション ・競技スペースの使用 ・プレゼンテーションとパートナーシップ
技術 (エグゼキューション)	・テクニカルスキル、フォーム、姿勢、アライメント 完成度、正確さ 筋肉強度、パワー、筋持久力 ・タイミングと一貫性(グループ)